


全学連 国際部通信

January 17, 2015 Vol.6

労働者・学生が団結して闘いにたちあがれば、世界をまるごと変革することができる！ 日々全世界でまきおこる闘いは、そのことをはっきりと示しています。この通信は、そうした闘いにスポットをあてるのみならず、実際の交流をも通して、日本での自分たち全学連の闘いの方向性を鮮明にし、大きな闘いをつくりあげるためのものです。留学生をはじめ、さまざまな大学の仲間とともにこの通信をつくってゆきたいと思います。投稿も随時募集しています！



「テロとの戦い」を口実とした 侵略戦争を許さない！

差別と戦争を生みだす 帝国主義をたおそう！

今月上旬にフランスで起きた連続銃撃事件にたいし、13日、フランス全土で370万人もの大規模なデモが行われました。フランスのオランド大統領を先頭に各国首脳もかけつけ、「反テロ団結」と大宣伝。オランド大統領は原子力空母シャルル・ドゴールを「イスラム国」掃討のため派遣し、空爆態勢の増強を示唆しました。「表現の自由」を声高に叫ぶ当局は一方で「テロ擁護」を理由に54人（フランス国内、16日時点）を逮捕し、市場・資源を奪いあう戦争の絶好の口実ができたばかりに、露骨な排外主義・愛国主義キャンペーンにのりだしています。

今回の事件の背景にはなにより、一方での欧州における移民への差別、他方での中東における収奪・不正義の侵略戦争にたいする、歴史的な怒りの蓄積があります。真にうち倒すべきは、宗教・民族対立を利用して私たちを分断し、戦争で殺し合わせる帝国主義の支配です。

2010年に韓国で、北朝鮮による砲撃を契機として排外主義が煽られたとき、韓国・ウルサンで工場占拠を闘っていた現代自動車非正規職労組の組合員は「戦争は延平島ではなくこのウルサン工場で起きている」と喝破し、労働者の本当の敵は資本・政府であることを全世界に訴えました。国境をこえた労働者の団結した闘いで、「1%」のための戦争を絶対に阻止しよう！

韓国・民主労総に ハン・サンギョン新委員長誕生！

韓国・民主労総は昨年末、95年の設立以来初めての全組合員直接選挙方式で時期執行部選挙を行いました。決選投票を経て12月26日に誕生したのが、「ゼネストの復権」をかかげて立候補したハン・サンギョン氏（下写真）を委員長とする第8期執行部です。これは2015年を「パク・クネ政権との全面戦争」として闘おうという80万民主労総の組合員たちの意志の表れであり、この選挙自体が、パク・クネへの怒りとゼネスト闘争を組織してゆく過程そのものとして闘われました。



ハン・サンギョン氏は2009年に双竜自動車労組の支部長として整理解雇に反対し、77日間のストライキを指導した人物です。スト終結と同時に拘束されて3年間の獄中闘争を闘い、解雇者復職や非正規職の正規職化を要求する高空籠城も行いました。

今回の選挙結果は、東アジアを焦点とした戦争の危機が切迫するなか、昨年11月に「北朝鮮の政治体制に賛同した」との理由で統合進歩党を解散させるなど、凶暴な攻撃をいっそう強めるパク・クネ政権に大打撃を与えています。不屈に闘う民主労総の仲間とかくく連帯し、2015年の闘いで安倍とパク・クネを打倒しましょう！

〈香港的鬥争不還結束！—香港の闘いは終わっていない！〉

*昨年9月、行政長官の選挙を契機に「真の普通選挙を」と訴え、金融街を数ヶ月間に渡って占拠した香港の闘い。この「雨傘革命」では学生の決起に労働組合が合流し、アジア・世界を揺るがす闘争に発展しました。本連載では数回にわたり、この歴史的な闘いの背景や本質についてみてゆきたいと思います。

①香港の地理と概歴

面積は東京都の半分にあたる1,103平方キロメートル。1842年の南京条約、1860年の北京条約により、香港島・九龍半島の先端がイギリス領となります。1898年からはさらに、235の島を含む新界がイギリスの租借地となりました。1997年7月1日に全域が中国に一括で返還され、現在の政体は中華人民共和国の香港特別行政区となります。

人口は約717万人（2013年2月時点）で、漢民族が約95%を占めています。イギリス占領時代に形成された大資本家のもとで異常な格差は「改革・開放」路線の中国政府によって引き継がれ、現在人口の約2割にあたる130万人が貧困層とされています。



Join us!

☆みんなで作業しよう！（翻訳など）

闘いの報告や声明、資料などの翻訳・発信等に、ぜひ力をかしてください！。留学生のみなさんも参加してくれています！

☆学習会をはじめよう！

メンバーの問題意識や折々の闘争にあわせて行って行けたらと考えています。

ex. 世界各国での学生の闘い、入管問題など

